

マリンドリーム号（能生駅～マリンドリーム能生）実証運行の結果について

1 目的

能生駅から道の駅マリンドリーム能生への二次交通を確保し、来訪者の移動利便性を向上させることで、公共交通の利用促進及び鉄道利用者の観光利用等を目的とした潜在的な需要の把握を行う。

2 運行内容

名 称	マリンドリーム号
実 施 主 体	糸魚川市地域公共交通協議会
運 行 事 業 者	株式会社ツカダ運輸
運 行 期 間	令和8年7月18日～8月23日の37日間（毎日運行） 10便／日
運 賃	乗車1回につき 大 人（中学生以上）300円 子ども（小学生） 100円 ※小学生未満無料
運 行 車 両	マイクロバス 27人乗り（補助席含む）

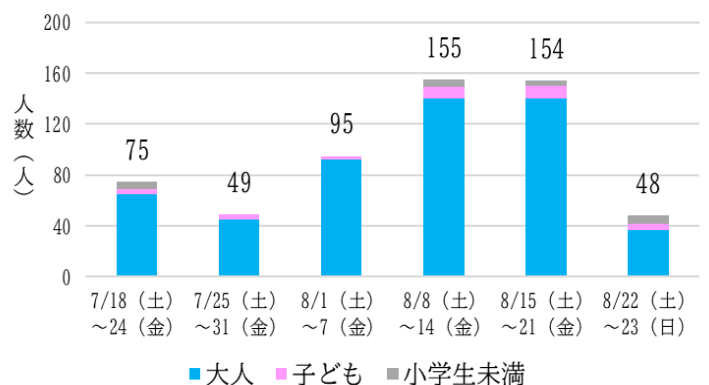
3 運行実績

- (1) 乗車人数合計 576人（内訳：大人519人、子ども35人、小学生未満22人）
- (2) 平均乗車人数 平日1.3人/便、土日祝日2.0人/便
- (3) 1日あたりの最多乗車人数 33人（8/16（日）、8/19（水））
- (4) 1便あたりの最多乗車人数 12人（8/8（土）10時30分能生駅発）
- (5) 利用状況
 - ・ 利用者の大半は大人で、子ども・小学生未満の利用は少なかった。
 - ・ 利用者の多くは、能生駅とマリンドリーム能生間を往復していた。
 - ・ 能生駅発（往路）は10時30分、マリンドリーム能生発（復路）は13時10分の乗車が最も多かった。

便ごとの乗車人数 単位：人

能生駅発 （往路）	10:30	11:45	12:55	13:55	15:05
	90	79	43	59	7
計 278					
マリンドリーム 能生発 （復路）	13:10	14:10	15:20	16:00	16:40
	94	67	63	46	28
計 298					

週別の乗車人数



4 利用者・関係者の声

(1) 利用者

- ・ 12 時前に能生駅に戻ってくる便がほしい。
- ・ 通年で運行があるとよい。
- ・ ほかにも停留所があるとよい。(スーパーなど)

(2) マリンドリーム能生

- ・ 8 月の入込客数は、前年と比べ約 17% 増加し、過去 20 年間で最多となった。
- ・ FM ラジオをきっかけにマリンドリーム号を知った県外の高校生など、公共交通を乗り継いで来訪する事例があった。
- ・ 営業時間及び鉄道との接続を踏まえた運行時間は適切であった。
- ・ 従前は、タクシーの手配に関する相談が多く、やむを得ない場合には、移動手段について個別に対応するケースも生じていた。マリンドリーム号の運行開始後は、同号の利用を案内することで、個別対応は不要となった。
- ・ 能生駅からの二次交通は、施設利用や観光誘客に不可欠であり、次年度以降も運行の継続を希望する。
- ・ 今後の広報・PR にも積極的に協力していきたい。

(3) 能生白山神社

- ・ 参拝客の増加につながることから、運行の継続を希望する。

5 事業評価及び今後の予定

本実証運行は、課題であった能生駅から道の駅マリンドリーム能生までの二次交通を確保するという点で、成果があったものと捉えている。

道の駅まで公共交通機関を利用して移動できることの認知度を高め、来年度以降の定期運行に向けて、利用実績や利用者の動向を踏まえた運行時刻やルート等へ見直すとともに、関係機関と協議を進めていく。

【参考】周知・広告

- ・ 糸魚川市広報等
市ホームページ、広報いといがわ、能生ケーブルテレビ、
市公式 LINE、保護者連絡用アプリ「LEBER」、市公式 Instagram
- ・ 時刻表チラシ・ポスター（日本語版・英語版）
- ・ ウェブ広告配信・SNS
新潟県・長野県の子育て世代をターゲットに Google 広告
Meta 広告（Instagram、Facebook）を配信
SNS 投稿（ハッシュタグ）キャンペーン
- ・ マリンドリーム能生による周知
HP、SNS、FM ラジオ、新聞、館内掲示

